

科目名	キャリアプランニング 1							年度	2026
英語科目名	Career Planning 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	柴 徳昭		教員の実務経験	無	実務経験の職種	作家活動			
【科目の目的】 キャリア全体に役立つ共通スキルを習得しつつ、初期段階では音楽業界にフォーカスする。セルフプロデュースやアーティストとしての自己PR、プレゼンテーションスキルを学び、音楽スキル以外にも情報収集力や人脈構築、社会での自立意識を身につけることを目指しています。授業はグループワーク等も行い、学生が司会やプレゼンを行うなどアクティブラーニングを重視し、能動的な参加を促す。									
【科目の概要】 この講義では、音楽業界で働く為の最低限のルール、業界のルールを道徳的な観点から学生に伝えていく。ミュージシャンとしてスキルを上げるだけでなく、「人」として信頼される礼儀作法や、マナーを指導する。一般常識や、時事問題などを学生に意識をさせ、世の中の情勢も音楽家として大切であることを伝える。学生が何に悩み、何を今考えているのかを把握し、学生指導に役立っている。自分の考えを文字として書くことを習慣化させ、就職活動において履歴書に記述することに抵抗を持たない学生を育てることも主眼としている。									
【到達目標】 A. 音楽業界の基本的な挨拶ができる B. 目標設定できる C. プロフィールを作成できる									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。職業訓練とは、2年後の自分自身の生きる糧・力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考えを持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	音楽業界の基本的な挨拶を積極的に行うことができる		音楽業界の基本的な挨拶ができる			到達目標Aについてさらなる努力が必要			
到達目標 B	目標設定でき、具体的なプロセスを考案できる		目標設定できる			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 C	プロフィールを作成でき、プレゼンできる		プロフィールを作成できる			到達目標Cについてさらなる努力が必要			
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 適時プリントを配布									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業内課題の提出									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		キャリアプランニング 1			年度	2026
英語表記		Career Planning 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	SDGs6理解	理解強化	1 SDGs6の概要	対面授業の仕組みを理解する	3	
			2 対面授業特	オンライン授業の仕組みを理解する		
			3 オンライン講	オンデマンド授業の仕組みを理解する		
2	SDGs7理解	ガイド理解	1 卒業要件	卒業条件を理解する	3	
			2 進級要件	進級条件を理解する		
			3 評価基準	他者紹介への導入		
3	SDGs8理解	人脈形成	1 自己紹介法	目標の立て方を学ぶ	3	
			2 他者紹介法	他者紹介の実践		
			3 キャンプ導入	フレッシュマンキャンプへの事前準備		
4	SDGs9理解	進路計画	1 2年間の計画	フレッシュマンキャンプの振り返り	3	
			2 目標設定	半年後の目標設定ができる		
			3 キャンプ評価	2年後の目標設定ができる		
5	SDGs10理解	実技習得	1 スタジオ基本	スタジオの使い方を学ぶ	3	
			2 楽器選択	楽器の使い方を学ぶ		
			3 楽器操作	スタジオでのマナーを学ぶ		
6	SDGs11理解	才能探求	1 萌芽性定義	萌芽性とは何かを理解する	3	
			2 萌芽性活用	萌芽性と新規性		
			3 発見戦略	萌芽展の作品発表を理解する		
7	SDGs12理解	自己理解	1 自己強み探	自己分析を行う（1）	3	
			2 キャリア目標	自己分析と自己PRの関係性がわかる		
			3 自己PR手法	文字数を決めて文章を書く		
8	SDGs13理解	深化自己理解	1 価値観調査	自己分析を行う（2）	3	
			2 経験反映	自己分析と履歴書の関係性がわかる		
			3 未来像設定	単語から連想してキーワードを膨らませる		
9	SDGs14理解	ITスキル	1 Google基本	Googleアプリケーションの理解（基礎）	3	
			2 スプレッド使	アプリを活用した事例の理解		
			3 プレゼン技法	アカウントの理解		
10	SDGs15理解	IT応用力	1 デモ制作	Googleアプリケーションの理解（応用）	3	
			2 音質調整	アプリを活用した時短術の理解		
			3 配信方法	パスワードについての理解		
11	SDGs16理解	音源制作	1 自己プロデュース	デモ音源の作成方法を学ぶ	3	
			2 ブランディング	販売の機会の理解		
			3 戦略策定	作品展示の理解		
12	SDGs17理解	自己宣伝力	1 自分の売り	プロデュースについて理解する	3	
			2 演技技法	セルフプロデュースについて理解する		
			3 SNS活用法	プロのキャリア設計を知る		
13	ボランティア	自己表現を理解	1 アーティスト化	アーティストとしての自己表現（基礎）	3	
			2 ファン獲得	プロジェクトとは		
			3 公演方法	クリエイティブなプロジェクトの理解		
14	ボランティア	PR戦略	1 プロフィール作	アーティストとしての自己表現（応用）	3	
			2 課題提出法	授業内課題の制作方法を理解する		
			3 プロジェクト発	授業内課題の提出方法を理解する		
15	まとめ	授業内課題を提出	1 アーティストPR	提出物の文字校正ができる	3	
			2 コンセプト策	プロフィールを成果物として発表できる		
			3 デモ編集法	後期への目標を設定する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等